
今後末永く共にする 1 台目の関数電卓として
島根大学 総合理工学部 物理・マテリアル工学科 准教授 宮本光貴

理工系の学生にとって関数電卓は必須のアイテムです。スマートフォンやノートパソコンでも同様の機能はありますが、やはり手軽な操作性や携帯性の良さから欠かすことは出来ません。私の担当する演習科目や実験科目においても、受講生には必ず携帯させて、計算やデータ処理に用いるようにしています。

私自身は学部 1 年生の時に購入したカシオの関数電卓「fx-570s」を現在の研究活動においても未だに使用し続けています。(四半世紀付き合っていることになりました!) この間、何度か新しい関数電卓を購入し、その進化に驚かされていましたが、やはり初めて手にした関数電卓の操作に慣れていたので、そのまま使い続けているといったのが実情です。ところが今回ご紹介いただきました「カラーグラフ関数電卓 fx-CG50-N」は、これまで私が手にしたいくつかの関数電卓とは比較にならないほど高機能で、いよいよ乗り換えを考えているところです。

この関数電卓の最大の特長は、カラーのグラフが描けることで、数式の直感的な理解が可能です。特に実験科目では、実験中にデータを入力・グラフ化できるので、実験内容の理解に役立つだけでなく、実験のミスにもその場で気が付くものと思います。

これから関数電卓の購入する学生の皆さんにとっては、決して安い買い物ではないかもしれませんが、今後末永く共にする 1 台目の関数電卓として、ぜひ検討されてみては如何でしょうか。